

コラム ビーンズスタッフ芋煮会

昨年11月16日(日)に、ビーンズスタッフの皆で「芋煮会 inフォレストパークあだたら」を開催しました。ビーンズの事務所も7ヶ所に増え、スタッフ同士もなかなか顔を合わせることが難しく、じっくり話せる機会も少なくなっています。そこで、日ごろの苦労を労い、ざっくばらんに話しながらお腹も満たされる素敵な企画を行いました。

料理の腕を発揮されたスタッフ、ご自慢の手作りチャーシューを披露されたスタッフ、鯛の差し入れをしてくれたスタッフ…あらためて個性溢れる人たちに恵まれた団体だと、しみじみ感じています。自身のお子様を連れて来られたスタッフもいて、子どもたちの笑い声が響きわたる「ビーンズらしい」芋煮会になりました。

企画としても、仕事の熱い議論を交わす場面も多く見られ、コミュニケーションがより深まったと思います。今後も福島の子どものために、団体内部から活動が促進される企画を実施していきます!!



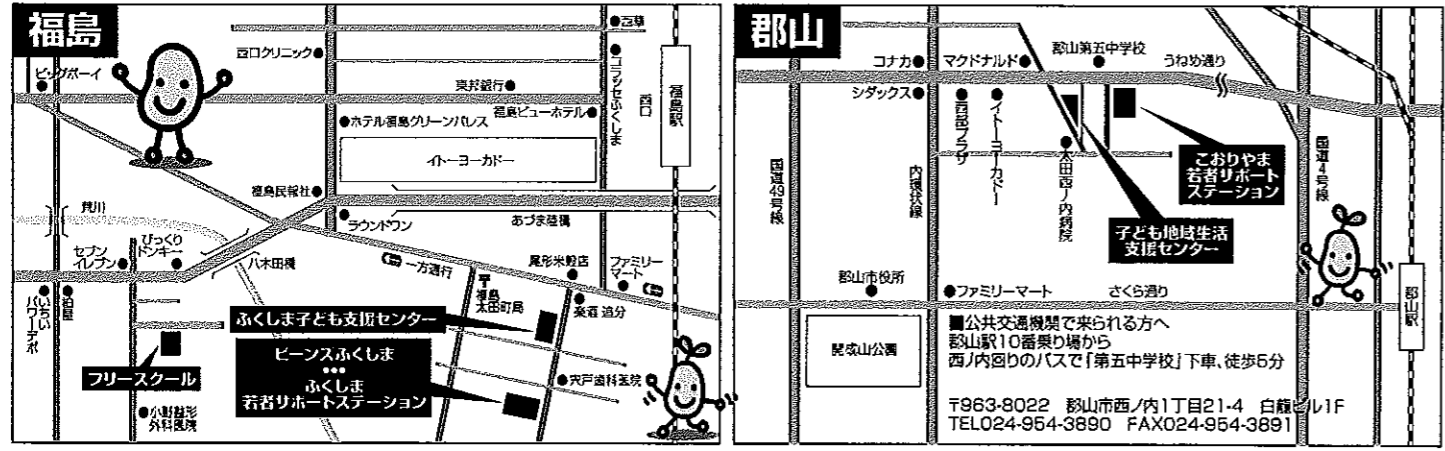
- 全国若者・ひきこもり協同実践交流会inおきなわ
平成27年2月21日、22日(土、日)
沖縄県男女共同参画センターにいるる
- 親の会(不登校のお子さんのおられる親御さんの集まり)
平成27年1月24日(土) 13:30~15:30 フリースクールビーンズふくしま
- 家族の集い(ふくしまサポステ利用者さんの親御さんの集まり)
平成27年2月7日(土) 13:30~15:30 福島市太田町14-3 尾形米穀店2階
- ふくしまサポステ出張相談会(詳細は同封資料をご参照ください)
平成27年2月3日(火) 11:00~17:00 かしま交流センター
- ふくしまサポステ出張相談会(詳細は同封資料をご参照ください)
平成27年2月17日(火) 11:00~17:00 相馬市民会館会議室
- [福島県子どもの健全育成支援事業から]
●餅つき大会…1月開催 ●雪合戦…2月開催

編集後記

明けましておめでとうございます。年末にインフルエンザが来宅し、今年のお正月は実家へ帰らず初めて自宅で正月を過ごすことになりました。

そこで少しですがお雑煮やおせち料理を作りました。普段は忙しく作る料理を丁寧に作ると、気持ちが穏やかになるものですね。今年の抱

負は「何事も丁寧に」。ビーンズ通信も丁寧にビーンズの今を伝えていきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。



●ビーンズふくしまのホームページ こちらへアクセス → <http://www.k5.dion.ne.jp/~beans-f/>

新人紹介 どうぞよろしく!

以前から人の役に立つ仕事がしたい思いがありました。厳しい生活を送っている子ども達のため頑張ります。

うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト
影山浩一

わからないことがたくさんありますが、人との関わりの中で学ぶこともたくさんあると思っています。よろしくお祈りいたします。

うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト
木戸彩愛(あやめ)

日々成長する子どもたちと継続的に関わることができて、喜びと責任の重さを感じています。ご指導のほどよろしくお祈りいたします!

うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト
中野鳩子

12月よりスタッフとなりました。今までの経験を活かしながら、子ども達のために頑張りたいと思います。

うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト
廣田圭亮(けいすけ)

10月22日よりお世話になっています。帰福したママ達のために、出来ることを精一杯がんばります。

ふくしま子ども支援センター
松村美保子

ビーンズ通信 Vol.67

●発行元
特定非営利活動法人
ビーンズふくしま
〒960-8066 福島県福島市矢剣町22-5 2F
TEL&FAX 024-563-6255
URL <http://www.k5.dion.ne.jp/~beans-f/>
E-mail Info@beans-fukushima.or.jp

●発行日/2015年1月10日

NPO法人ビーンズふくしまは、不登校の子どもやひきこもりの青年などに安心できる居場所を提供し、1人1人に寄り添って、ゆるやかな社会参加を促し、その自立を支援する、若者支援の理念に基づいて事業を展開しています。

謹賀新年

新しい年を迎え、今年もまた、ひとりひとりの想いを大事にしなが、ビーンズふくしまスタッフ一同、励んでまいりますので、本年もどうぞよろしくお祈りいたします。平成27年1月

新春を迎え、いよいよ「清来のこと」お慶び申し上げます。旧年中は、皆様のご支援ご協力をいただき、多くの子ども若者たち、そしてご家族の皆様とつながることができました。

子どもたち若者たちの未来と共に

今年は未(ひつじ)年、「未」という字は「未来」の「未」でもあります。子どもたち若者たちの未来を、この福島を皆さんと共に語って一年にしたいと思っています。

「未」という字は、枝が茂っている木の形で、まだ枝が伸びきっていない部分を描いたものだそうです。これから伸びていく可能性を内に秘めている、ということでしょう。

子どもたち若者たちの「未」の力を信じて、私たちは共に歩んでいきたいと思っています。彼らが持つ力と可能性、それを発揮して行くためには、それが出来る場と機会、そして人との出会いが必要です。それをつないでいくことが、ビーンズふくしまの役割であると

考えています。同時に、そうした場がこの福島に無いのであれば、それを創り出すことも、また役割とと思っています。

今年、福島はあの日から4年の年月を経て5年目を迎えます。ひとりひとりが様々な想いを抱きながら過ごしてきた日々、そしてこれからも、それぞれが答えを求めながら模索する日々が続くことでしょう。その模索の過程を、子どもたち若者たちと共に創っていったら楽しいのではないかと、思うのです。なぜなら、その未来は彼らが担うものなのですから。求めている答えは彼らが持っているのだとも思うのです。

ビーンズふくしまはそんな彼らと共

に歩みながら、共に模索し、共に創り出して行きたいと考えています。子どもたち若者たちが生き生きと暮らしていくことができる社会を、この福島の地をモデルとして示していけたら…おもしろいと思いませんか。

今年一年、そんなことを語りながら次に向かって歩んでいきたいと考えています。



若者達の居場所 ぴあさぽCAFE オープンしました!

福島県の委託事業として、ふくしまピアサポートネット(略して“ぴあさぽ”)が始まって2年と8か月。1地域につき約3ヵ月間のプログラムとして県内各地で料理教室や芋煮会、コミュニケーションエクササイズ等を行ってきましたが、これまで本当にたくさんの若者たちが、たくさんの仲間との経験や体験をして、とびっきりの笑顔や、ひとまわり大人になった姿を見せてくれていました。

そして、「短期間で終わってほしくない」「このような居場所が地域にあってほしい」という多くの声にお応えして、福島市太田町に11月14日、本格的に若者の居場所をオープンすることが出来ました。

若者たちみんなと相談や企画会議をすることでスタート。カフェをやるのか、フリーマーケットをやるのか、レンタルスペースにしようか、ゆったりできる場所にしようか。本当にた

くさんの意見をみんな出してくれましたが、最終的にみんなが出した結論は、“ぴあさぽ”らしいこれまでの居場所、活動、仲間をまずは大事にしたいということでした。

何も無いところから始まり、若者たちと相談しながら掃除や整理整頓、ご寄付頂いたテーブルや機材を搬入し、レイアウト作りからまずは実施しました。不足物はみんなの知恵でカバーです。例えば、コタツの毛布がない場合は端切れを重ねて代用したり、彼らの工夫が満載の居場所です。

そして現在の具体的な活動内容は、ルワンダの学校建設を支援する団体の紅茶を詰めるボランティア活動・駅舎(曾根田駅)を使って開催されるクリスマスイベント【駅カフェ】へ



の駅舎装飾物制作や展示用作品の制作《地域の一大イベントに企画段階から関わらせていただき、装飾物制作やイベント当日の準備などまで全員で取り組み、みんなイキイキと大活躍でした(^^)》などに取り組んでいます。《11月は7回、12月は13回の活動実績》

今後は、地域を巻き込んだイベント“豆フェス”の開催や地域の先生を招いて行う似顔絵講座等も開催予定です。

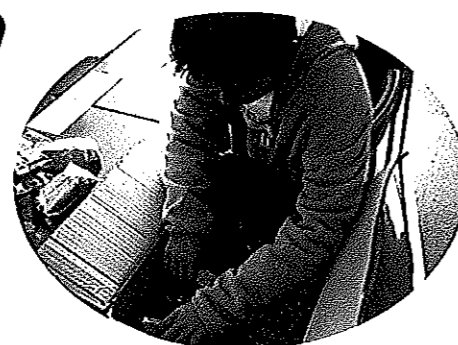
まだまだ始まったばかりですが、これからも若者たちが自分らしく輝ける、わくわくできる居場所を創ってきたいと思っています!

習慣豆太郎 はじめました!

去年の5月9日から若者の就労へ向けてのお手伝いをするため、「サポステクラブ“習慣豆太郎”」を発足しました。

個人面談の中で、若者から「人とコミュニケーションを取るのが苦手」、「生活のリズムを変えたい」、「自分が何をしたいのか分からない」という声が聞かれ、それに対する取り組みとしてグループでの活動プログラムを提案し参加を募ってきました。

今までサポステクラブでは、職場見学、封入作業、近所の清掃、地域のイベントに参加などを行ってきま

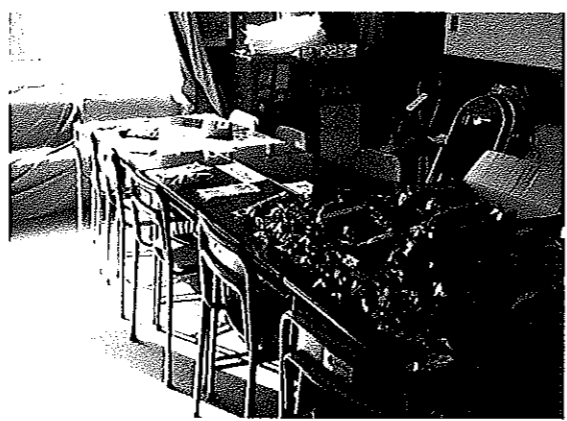


た。最初の頃、人と関わるのが少ない若者たちは、非常に緊張していたことを覚えています。最初の頃は個人で出来る作業を行い、様子を見ながら少しずつみんなと協力しながら成し遂げる事を増やしていきました。

そして、数名の若者はサポステクラブを卒業していきま

した。それらの若者は「集団の中にいることができたことで自信が持てた」、「(軽作業を通して)人の為に何か役に立ってみたい」などを言葉にしてくれました。

これからも、サポステクラブがそのような若者たちの未来への一歩の架け橋になればと思います。



メリークリスマス!! フリースクールクリスマス会

2014年もあと少し、年の瀬のビッグイベント!フリースクールクリスマス会が今年もやってきました。今年のクリスマス会は、それぞれが居やすい会を目指して、準備からゆったりのスタートでした。会当日、クリスマス色に飾り付けられた会場は、1日中、笑いとおたかい空気に包まれました。子どもたちが一生懸命作った「ちらし寿司」や「餃子」、保護者の方からつくり方を教わって作った「リンゴケーキ」、そして、たくさんのおうちから頂いた、愛情あふれる差し入れて、テーブルの上は埋め尽くされました。今年

は企画も目白押し!恒例の「激辛ロシアルーレット」や、どのメーカーのお茶を飲んだかを当てる「きき〇〇」、そして「ジェスチャーゲーム大会」や「漫才発表」、「プレゼント交換」も盛り上がりま



ました。最後は、1ヶ月間かけて作り上げた心温まる「クリスマスムービー」の発表でほっこりと閉会しました。今年のクリスマス会は、保護者の方や、ボランティアのみなさん、他事業

思いっきり体を動かそう! 学サポ&子ども広場 エスエスデー!

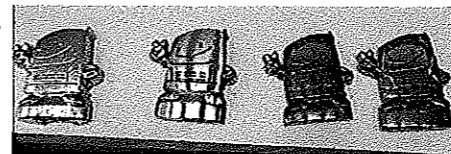
昨年11月22日。うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクトでは、三春の町内体育館にてエスエスデーを開催しました!外はすっかり寒い季節でしたが、体育館には子どもたちが集まり、笑顔で元気な様子を見せてくれました。希望が多かったバスケでチームを組み、試合が始まると勝ち抜き戦に熱が入って一緒に参加しているスタッフを圧倒!競技が終わっても体

をたくさん動かしている子どもたちからは歓声や笑い声が上がり、体育館に響き渡りました。当日は他方からのスタッフにも参加して頂き、子どもたちの保護者の方々及び三春町民体育館係員の方のご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。



いすずのものづくり

12月8日にISUZU自動車のスタッフの皆さんがイベントを開催するために来福してくださいました。ビーンズの若者とスタッフで「鑄物づくり」をこむこむ館で行いました。ISUZUのキャラクター“エルフくん”の文鎮づくり開始!慣れない作業の中、スタッフのみなさんが丁寧に教えて下さいました。出来上がりの形はみんな同じでも色の光沢がそれぞれ違うので、個性が良く出ていました。本当に楽しい一日でした。



ポリテクセンター 親子ものづくり体験教室

冷たい雪が舞う12月6日、ポリテクセンター福島で行われました、「親子ものづくり体験教室」。地域の職人さんが自分の仕事を小学生と親御さんに披露して、それを体験してもらうイベントです。ふくしま若者サポートステーションでは、紙コップのおもちゃと牛乳パックのおもちゃを出店しました。子どもたちは、おもちゃを色鮮やかに可愛くデコレーションをして楽しんでくれました。

